



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



VOL.151

もくじ

P1 笹野 高史氏 P2 山口 崇氏 P3 三島博士 P4 山田 脩二氏 P5 宮地夫妻・Tomitaya Music Club
P6 淡路文化会館・淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



笹野さん関係の本etc.

島からでた スーパースター



笹野 高史氏

淡路市多賀出身

TVではドラマやバラエティー番組に大活躍で、名脇役として超有名な皆さんもよくご存じの俳優・笹野高史さんについて取材しました。笹野高史さんに関する資料を数多く収集されている田村昭治さんにその貴重な資料の一部を見せて頂きながら、お話を伺いました。

笹野さんは淡路市多賀の出身で、洲本高校を卒業後に俳優を夢見て日大芸術学部に進学。学生時代に劇場の裏方仕事や船員生活から、その後役者に転身し、舞台・映画・ドラマなど数多くの作品に脇役で出演、今では欠かせない名脇役として日本アカデミー賞最優秀助演男優賞まで受賞されました。

「ワンシーン役者」「カメレオン俳優」を自称し、どんな役も器用に演じる脇役として演劇やドラマ・映画をはじめ、ミュージカルや歌舞伎にまで出演される…など、本当に文字通り幅広く活躍されています。中でも、“淡路島出身なので「淡路屋」という屋号”や“高田屋嘉兵衛にあやかっただ「三つ寄せ真向き帆掛け舟」の家紋”まで持って歌舞伎に出演されている…というのは初めて聞いた話で驚きました。

そんな脇役にこだわりを持って演じて来られた笹野さんですが、11/1(土)公開の映画「グレイтフルデッド」では“20歳の女と戦う孤独死寸前の爺さんの役”で遂に主演俳優として出演されています。全国順次ロードショーとのことですが、関西での上映劇場・スケジュールは未定のようなので、公開情報は映画GREATFUL DEAD(グレイтフルデッド)公式サイトでご覧になれますので、皆さんも一度チェックしてみてください～～

応援隊: 栄 宏之



山口 崇氏 78才

南あわじ市阿那賀出身

淡路島生まれを誇りに思っています。



俳優の道へ

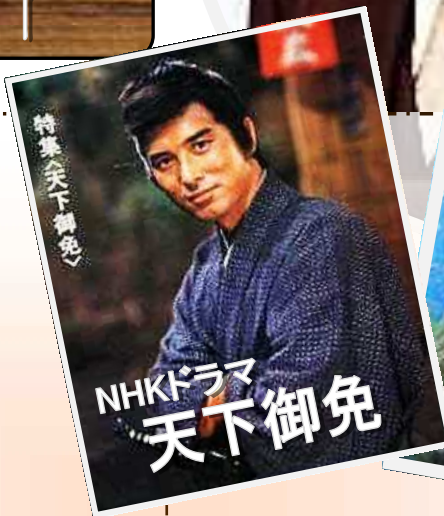
大学	高校	中学卒業	小学3年
学生自治会で活躍 停学	早稲田大学入学	ラグビー部で活躍	上京
		肺結核を患うが完治	終戦

俳優山口崇
サクセス
ストーリー

山口 崇さんの生まれは旧三原郡阿那賀村で、小学3年生の時が終戦でした。そのために勉強をしたくてもできない時代で、教科に好き嫌いもなく学べるものは何でも学びたかったそうです。それから肺結核にかかり、完治するまで家の中で本を読んでいることが多くなり、そのことから大人になったらお医者さんになりたかったそうです。

中学校を卒業してから東京へ行き、東京での高校時代はラグビー部で活躍され、早稲田大学に入学して学生自治会で活動していましたが、ある時に停学になりました。そんな時にNHK俳優養成所の募集のことを知って受験したところ合格して俳優になりましたが、その停学がなかったら俳優になっていなかったそうです。

その後はご存じのように数多くのテレビドラマや映画、舞台などに出演し、時代劇や現代劇を問わず大活躍されて現在に至っています。



今まで出演した作品の中で一番思い出に残っているのは、幻の名作といわれるNHKドラマの「天下御免」とおっしゃっていました。この作品では、山口さんは平賀源内役で出演されています。

また年配の人ならご存知のテレビの「クイズタイムショック」では、7年半にわたり名司会ぶりを発揮して人気を集められました。

三味線奏者としても有名な山口崇さん



山口さんは三味線の奏者としても有名で、長唄など長年にわたり邦楽のほうでもご活躍されています。また若い時から体を動かすのが好きなので、現在でも時間があるとゴルフに行ったり、スポーツジムに行ったりして体を鍛えているそうです。

山口さんにとって淡路島とは「自然いっぱいのおいしい場所であり、淡路島生まれであるということを誇りに思っています」と話されています。

応援隊：田処 壱久

※ 山口さんは東京在住のため、電話でお話を伺いました。

郷土が生んだ偉大な工学者

「MK鋼」を発明

日本の十大発明家の一人

みしま とくしち
三島 徳七 博士
五色町広石出身



マグネットの三島

「マグネットの三島」として世界に知られた偉大な工学者！
“三島徳七博士”は、淡路島洲本市五色町の出身で「MK鋼」を発明し、20世紀の世界の産業技術の進歩発展に大きく貢献しました。その発明は今日でも多くのエレクトロニクス機器(テレビ・ラジオ・自動車etc)に用いられ、私たちの便利な生活になくてはならない存在となっています。

1950年には文化勲章を受章、特許庁が掲げる日本の十大発明家の1人です。徳七博士はMK鋼発明後の昭和10年、当時の広石村に子弟教育支援基金の寄付をするなど、故郷の子弟への思いは格別でした。昭和50年、徳七博士は数多くの功績を残して83歳の生涯を終えられました。

みしま よしつぐ
三島 良績 博士
徳七博士の長男

ジルコニウム合金の研究者

原子力安全の世界的権威

徳七博士の長男である“三島良績博士”(東京生まれ)は、原子力安全性の世界的権威者で、原子力の平和利用と安全確保のために、自らの研究と共に学会の指導者として重要な役割を務めた世界的な工学博士です。ジルコニウム合金の研究は原子炉材料としてその安全性に大きく貢献し、世界的な栄誉賞であるクロール国際賞や米国原子力学会よりシーボルク賞を受賞。

父の故郷五色町への思いが厚く徳七博士逝去の後、五色町の子弟教育支援のため出資し、「三島育英基金」が設立されました。日本原子力学会会長、世界原子力学会会会長を歴任する他、「核燃料工学」「特殊金属材料」等々、学会から注目される著書を出版。21世紀に向けての原子力問題の課題解決のため一層の活躍が期待されるなか、平成9年1月に75歳で逝去されました。



三島博士顕彰室
月～金(10時～16時)

偉大な工学者を生んだ郷土の五色町広石地区では、このお二人の功績を称えようと三島博士顕彰会を設立し、こどもから大人に至る多くの人々に博士の往時を偲び学んでもらうことを目的に三島徳七博士・三島良績博士顕彰室を設置しました。両博士の足跡がぎっしり詰まった空間で、博士の研究心や志に触れてみませんか。応援隊:瀬戸 由美子

昔ながらのだるま窯を復活



南あわじ市津井



カメラマンからカワラマンに..

瓦界のスーパー 山田脩二氏

山田さん流鬼瓦

笑



怒



西淡三原IC前の
青海波ピラミッドは
山田さん制作



淡路の地場産業は?と聞かれたら、今の若い方はなんと答えるでしょう。つい30年ほど前まではその代表格だった「淡路瓦」。

山田脩二さんは、子供の頃見た瓦の美しさが忘れられず、有名カメラマンという名声を捨て40歳を過ぎてから淡路島で瓦作りに飛び込み文字どおりカワラマンに。時代の流れとともに人々のライフスタイルが変わりつつあった当時から、それまでとは違う瓦の使い方を提案してこられました。

まず、たくさん出る廃棄瓦を何とか活かそうと、砕いてタイルに入れるアイデアや、家の玄関や庭園、遊歩道に使用することなどを提案し、有名な建築家から材料として注文が入るようになりました。

阪神淡路大震災で多くの家屋が壊れ、瓦を屋根材から避ける建築が増えたことに心を痛み、多くの人が訪れる建物に積極的に瓦を使うように奔走されまし

た。1998年に西淡三原インター前にいぶし銀の瓦を7万枚使って「青海波ピラミッド」を制作。また2000年に淡路島で花博が開かれたとき作られた国際会議場は、世界的建築家 安藤忠雄さんのデザインですが、安藤さんと懇意にされてる山田さんのアイデアも活かされ、美しい瓦屋根が印象的です。

今では最盛期の6分の1にまで減少した瓦の生産量。山田さんは6年前に昔ながらの「だるま窯」を復活させ1枚1枚に手作りの味わいが出る瓦を焼きながら、日本の伝統「葺の波」の復活を願っておられます。

「初めはよそから来た者に何がわかる?と言われてた。でも外から見るからこそ分かることもある。これからは本来持っていた資源(よさ)を見直して発信することが大事。例えば淡路牛井やしらす井、瓦も…」カワラマンの活躍はまだまだ続きます。

応援隊: 浜田 泰美・岡 八代井



島暮らしバンザイ!



中川原町在住の陶芸家夫妻

宮地夫妻

陶器 あわじん



大阪
八尾市生まれ

愛媛
松山市生まれ

洲本市中川原町にお住まいで陶器制作をしている宮地 真(しん)さんと明子さんご夫妻を訪ねてきました。ご主人の真さんは愛媛県松山市生まれ、奥様の明子さんは大阪府八尾市生まれで、共に島外の生まれ育ちですが、共通の仕事、陶芸で淡路島で出会い、結婚して去年から中川原で食器を中心に制作活動をしています。

学生時代には、ご主人は油絵を専攻、奥様は日本画を専攻していて、お二人共に絵心があり楽しい芸術家夫婦の印象を受けました。

私は夏休みにNPO法人の陶芸教室で宮地夫妻指

導のもと淡路島の形の箸置きを作り、海外の客人のお土産にしようと思っておりましたが、けっこう気に入って毎日夕食時に使っています。(笑)

はるか彼方に焼き物を発見した人はえらいと感心しながら陶芸教室で何十年か振りに中川原の粘土をこねて、形にして焼いてもらいました。こねる作業、形をつくる作業は無心になれます。焼きあがった作品は心を癒します。芸術であり、感動であり、淡路島に宮地夫妻ありで、陶芸にはまってください。

応援隊:田村 ひろ子



今月の生活創造活動グループ紹介 Tomitaya Music Club



はじめまして。Tomitaya Music Clubです。

地域活性化活動のひとつとして、淡路島を盛り上げようと、自前の機材を使って、イベント等に参加させて頂いております。各地区のお祭りやイベント等の音響・照明・舞台、個人や団体のイベント、企画イベント等幅広く音楽関係のお手伝いをさせて頂いております。また、バンドやミュージシャンの出演もご依頼いただければ、淡路島のネットワークを活用してご紹介させて頂きます。出演音響セット、カラオケ等多様な

ニーズにも柔軟に対応致します。まずはご相談をお願い致します。

今回は、自主企画イベントと致しまして、2014年12月20日(土)18時より淡路市ふるさとセンター多目的ホールにて「クリスマスライブ」を開催いたします。淡路島在住アーティストの方々が多数出演致します。入場無料ですのでお時間がありましたら、ぜひ、お立ち寄り下さいませ。

今後も淡路島にて、より多くのイベントが開催できるようにお手伝いさせて頂きます。イベント開催時にご相談下さい。

また登録会員も募集中です。費用は一切かかりませんので、住所・氏名・連絡先をお知らせ頂けると、イベント情報や出演依頼等をお伝え致します。

音楽イベントが好きな皆様、一緒に淡路島を盛り上げていきましょう。

★淡路文化会館からのお知らせ（淡路人形浄瑠璃魅力発信事業・「いざなぎ学園」のご案内）

～人形浄瑠璃街道推進事業～
淡路芸術文化祭

淡路人形浄瑠璃魅力発信事業
西宮公演

淡路人形座五十周年記念
「今、躍動する人形」



2015
1月6日(火) 開演13:00 (開場12:30) 兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール

入場料
S席3,000円 A席2,000円 B席1,000円 (全席指定・税込)
【ご予約・お問合せ】
芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

「いざなぎ学園」 入学のご案内

この学園では、おおむね淡路島内の中高年の皆さんを対象とした学習、趣味伸長、仲間作り、そして地域活動の講座を行っています。

○募集開始 平成27年1月7日(水)より

○オープンキャンパス

会場:淡路文化会館

日時:1月7日(水),1月21日(水),2月4日(水)
いずれも 9:30~15:00

内容:1/7 教養講座「シルバーライフを楽しく」
「サークル活動」

1/21 専門講座「兵庫の古墳」「身体が心が嬉しくなるウェルネス」「サークル活動」

2/4 教養講座「多文化共生社会を目指して」
「サークル活動」

★兵庫県淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島のお知らせ★

兵庫県淡路消費生活センター

ごみダイエット・チェック表(○を記入)

1. 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋はもらわない。	
2. 瓶、缶、新聞、雑誌、ペットボトルは資源ごみとして出す。	
3. 食品トレーや牛乳パックはスーパーなどの回収に出す。	
4. 食べ物を残さないように食べる量を考えて作る。	
5. 冷蔵庫を点検、賞味期限切れで捨てないようにする。	
6. 生ごみの量を減らすため、水切りしてから堆肥にする。	
7. 詰め替えられるものは詰め替え品を購入する。	
8. 水筒やマイお箸を持ち歩いている。	
9. 再利用出来る衣料やおもちゃは誰かに譲るようにしている。	
10. ダイレクトメールやチラシは断る。	

○1~3個 まだまだ努力の余地があります。さらにスリムになるようにがんばりましょう。

○4~6個 ごみダイエットは頑張っています。この調子で頑張ってください！

○7~10個 ダイエット成功。明るい未来が待っています。

ごみを出来るだけ発生させない生活が大切です。

環境問題に関心を持ち地球にやさしい行動を。

そして、明るい未来をつくりましょう。

淡路島の地域づくり活動を応援する

『プラットフォーム淡路島』からのお知らせ

みなさんこんにちは、『プラットフォーム(PF)淡路島』です。

去る11月11日(火)兵庫県立淡路景観園芸学校にて第2回あわじ地域づくりラウンドテーブル「里海里山交流会」を行ないましたので、その報告をここでお伝えいたします！

テーマは“かいぼり”。漁業者と農業者が協力し、ため池の“かいぼり”作業を行い豊かな海・里づくりに向けて活動している東浦の団体様や地域に交流広場をオープンさせた室津の漁業関係者様の取組みを発表して頂きました。

後半はグループに分かれての、里海里山の連携について行政、漁業関係者、地域団体がそれぞれ意見交換を行い、ラウンドテーブルは無事終了。

意見を出し合う事で見えてくる互いの立場や問題点をこのラウンドテーブルで共有することができました。

次回は島外への視察を予定しております。

乞うご期待！（詳細は次号でお伝えいたします。）



【問合せ】プラットフォーム淡路島

淡路県民局県民課 Tel 0799-26-2043



兵庫県淡路消費生活センター
消費生活相談・多重債務相談
☎ 0799-23-0993
9:00~12:00 13:00~16:30

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	季節のクラフト 「クリスマスリース」	12/6(土)7(日)13(土)14(日) 10:00~16:00※ビクター棟	クリスマスリース300円 前回体験分のリースを持参の場合、飾り付け料のみ200円 ※別途入園料、駐車料金要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00(最終入館17:30) 12/6~14の土日、12/20~24は21:00	クリスマスフラワーショー-2014 —クリスマス物語—	~1/18(日)	大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
	足立美和子先生の クリスマスオナメント・お人形作り ワークショップ	12/14(日) ①13:30~②14:30~ 定員先着10名	参加費700~1,000円 対象:小学生(※幼児は保護者と参加可。保護者は入館料要)大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	平成26年度 柳幼稚園発表会	12/6(土) 開場9:00 開演9:45終演12:45文化ホール	入場無料 【問】柳幼稚園22-3208
	第6回 淡路島ウクレレhicoca	12/14(日) 受付13:15 開演13:30終演16:30会議室2C	参加費500円(会場代・楽譜代) 【問】島レレ実行委員会担当:矢吹090-4033-3971
	26th柳学園中高ジャズバンド部X'mas Eve ² Fun ² Concert	12/23(火祝) 開場13:30開演14:00文化ホール	入場無料 【問】柳学園高等学校22-2552柳学園中学校22-2551
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	市民交流センター文化祭	作品展12/5(金)~7(日) クリスマスお茶会12/6(土) 一日体験教室12/7(日)	一部有料 【問】市民交流センター
淡路市 北淡歴史民俗資料館 〒656-1741 淡路市浅野南240 TEL 0799-70-4135 TEL/FAX 0799-82-2177	企画展 昔のくらし展 昭和20年代から40年代の道具などを中心に約50点展示	12/16(火)~3/15(日) 9:00~17:00※入館は16:30まで(月曜休館1/12は開館1/13は休館)	入館料大人210円(中学生以上)小人100円(幼児無料)※コロナカード、のびのびパスポート利用可【問】北淡歴史民俗資料館
淡路人形座「12月公演」 『いとしいわいのと かきどき...』 ◎毎水曜日は定休日	【通常公演】「人形解説」・「壺坂霊験記 山の段」10:00,11:00,13:00,14:00,15:00 ※鑑賞料 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 【今月のイベント】 12/6(土)「第1回阿波路会 竹本友和嘉・鶴澤友勇 女流義太夫公演」 淡路人形協会理事長正井良徳による演目解説、素浄瑠璃「伽羅先代萩 御殿政岡忠義の段」18:00開演 入場料大人1,000円 学生無料 12/13(土)「人形浄瑠璃とお囃子」望月太明蔵社中によるお囃子講座 淡路人形座・望月太明蔵社中による「三番叟」「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」 18:00開演 入場無料(先着200名)【問合せ】TEL:0799-52-0260(淡路人形座)		
平成27年度淡路島誘客 支援事業 「淡路島バスツアー助成 制度」申請団体募集	【募集】11/4(火)~随時受付 【実施対象期間】平成27年3月21日(土祝)~平成27年5月31日(日) 申請書は当協会HPよりダウンロード可。http://www.kuniumi.or.jp/ 【問合せ】(一財)淡路島くふうみ協会 総務企画課TEL:0799-24-2001 FAX:0799-25-2521		

所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	放送大学平成27年度 第1学期(4月入学生)募集	出願期間は2月28日まで。 資料を無料進呈 【問】放送大学兵庫学習センター(078-805-0052) 姫路サライトスペース(079-284-5788)	鑑賞無料
	第36回淡路文学作品展	12/4(木)～11(木) 9:00～17:00※展示室	
	内海信子 柿渋型染め展	12/4(木)～19(金) 9:00～17:00※県民ギャラリー	
	十の会	12/13(土)～19(金) 9:00～17:00※展示室	
	彫紙アート展	12/21(日)～27(土) 9:00～17:00※県民ギャラリー	
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL/FAX 0799-22-3322	馬の博覧会 ～馬との暮らしの記憶と未来～	12/20(土)21(日) 10:00～17:00(初日は 12:00から) ※3階ギャラリー	鑑賞無料 【問】あわじシアタースクラブ 山下090-5136-7709
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	第33回書友展	12/6(土)7(日) ※洲本市文化体育館10:00～ 18:00(7日は16:00まで)	【問】淡路書道連盟事務局 090-9059-2633
南あわじ市 滝川記念美術館 玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成26年度 館蔵品展Ⅲ ※期間中一部入れ替えあり	12/6(土)～3月下旬 9:00～17:00 入館は16:30まで 月曜休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロン カード」「のびのびパス ポート」利用可 【問】玉青館

ポケットあわじご愛読のみなさま(おわびと訂正)

日頃はポケットあわじをご愛読いただきありがとうございます。さて、ポケットあわじVol.148(2014年9月号)「あわじのお宝ざっくざく」の5ページ「沼島さや状褶曲」の記事の中に誤りがありました。おわびして、次のように訂正させていただきます。

(誤)さや状褶曲を見たたん、マグマがまだ柔らかいうちにぐにゃ〜と押されて丸く歪んでできたのだと想像でき、その1本1本の線の複雑さに地球の神秘や雄大さを感じました。



(正)さや状褶曲を見たたん、地中で押され熱せられた岩石(たい積岩)がぐにゃ〜と押されて丸く歪んでできたのだと想像でき、その1本1本の線の複雑さに地球の神秘や雄大さを感じました。(※たい積岩…水中で砂や泥などがたい積し岩石になったもの)

編集だより

ポケットあわじに携わり早8か月。他の業務と並行し、唯一ルーティンが確立できたのがこの発行業務です。それもこれも、関係機関及び応援隊の皆様のご協力あつてのこと。改めて感謝です。記載内容への問合せや感想がメールで届くなど、島内の皆様に広くお読みいただいているポケットあわじ。今後も淡路島の広告塔の1つとして内外に情報を発信して、淡路島を盛り上げていきたいと思います。生活創造活動専門員 中村



「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

E-mail a-pocket@hyogo-ikigai.jp

